

2016年度  
都市住宅学会 市民フォーラム

# 新たな 住生活 支援の かたち

5月31日(火)

14:45-16:45 / 参加無料

住宅金融支援機構 すまい・るホール

JR総武線 水道橋駅 西口徒歩3分  
都営大江戸線 飯田橋駅 徒歩5分  
都営三田線 水道橋駅 徒歩5分  
東京メトロ丸の内線・南北線 後楽園駅 徒歩7分  
東京メトロ有楽町線・東西線 飯田橋駅 徒歩10分



## 参加申込について

所属・氏名・連絡先を添えて、右記の連絡先まで  
FAXまたはメールでお申し込みください。  
複数名の場合、全員の氏名をお知らせください。  
受講票は特にありません。会場での当日申込も可能です。

公益社団法人 都市住宅学会  
Fax: 03 5211 0598 (Tel: 03 5211 0597)  
Mail: t-info@uhs.gr.jp  
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング7階

## 開催にあたって

2016年に住生活基本計画（全国計画）が改訂され、  
新たな住宅政策課題への歩みが始まった。

大きなチャレンジは、住生活支援の充実である。これには、  
民間賃貸住宅を用いたセーフティネットの充実に加え、  
今後、高齢化が進んだ住宅地における生活支援がある。  
本プログラムでは特に後者に焦点をあて、現在行われて  
いる先進的な事例を紹介し、また課題を抽出することで、  
新たな住生活支援のかたちを考えていこうとするものである。

コーディネータ

浅見 泰司

東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授

パネリスト

玉井 美子

(株) コミュニティネット 運営部長

分散型サービス付き  
高齢者向け住宅の現状と課題

太田 潤

UR ウェルフェア 総合戦略部長

UR 団地の地域医療福祉拠点化

松本 真澄

首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 助教

空き店舗を活用した居場所  
づくりの試みから生活支援へ

中川 雅之

日本大学 経済学部 教授

不動産業者は居住支援に  
どのように関わるか？